



# こたんめーる 90号

2017年5月1日 発行

〒059-0902

北海道白老郡白老町

若草町2丁目3番4号

Tel 0144-82-3914 Fax 0144-82-3685

一般財団法人アイヌ民族博物館

5月・6月の催し物

## ◆春のコタンノミ（集落の祭り）



日時 2017年5月1日（月）10:30～  
※オメカブ（後祭り）5/2（火）13:00～  
内容 春と秋の年2回行われるコタンの大きな儀式です。自然の恵みに感謝し、皆が健康に生活できますようにと祈ります。翌日にはオメカブ（後祭り）を行います。  
会場 アイヌ民族博物館 ポロチセ

## ◆彫刻教室 イヌイエアン ロ！作品展

日時 2017年3月18日（土）～5月21日（日）  
内容 2016年に開催した文化教室の紹介と、制作したイタ（盆）を展示しています。  
会場 アイヌ民族博物館旧館ミュージアムショップ横

## ◇アイヌ文様を作ろう！～ステッカー編～

日時 2017年5月3日（祝・水）10:00～15:00  
約30分間  
内容 アイヌ文様を型抜きしたり、ひと手間加えてオリジナルデザインのステッカーを作ります。  
会場 アイヌ民族博物館 ポンチセ  
対象 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）  
定員 15名（先着順）  
申込 予約可  
参加費 500円～ ※別途入場料、白老町民は入場無料

## ◇博物館ガイド

日時 2017年4月29日（土）～5月7日（日）  
①10:45～②13:45～③14:45～ 約30分間  
内容 博物館の常設展示の解説をします。  
会場 博物館常設展示場（集合は博物館展示入口）  
対象 小学生以上  
申込 不要  
参加費 無料 ※別途入場料、白老町民は入場無料

## ◇コタンの樹木案内

日時 2017年4月29日（祝・土）・5月3日（祝・水）  
5月5日（祝・金）・5月7日（日）  
いずれも11:00～ 約30分間  
内容 敷地内の木にまつわる物語や利用について紹介します。  
会場 ポロトコタン屋外（コタンコロク像前集合）  
対象 小学生以上  
定員 10名  
申込 要 ※天候により中止となる場合があります。  
参加費 無料 ※別途入場料、白老町民は無料

## ◇大人の遠足



日時 2017年6月3日（土）10:00～14:30 予定  
内容 登別・白老にまたがる海岸線沿いに残る地名を歩きます。 ※小雨決行、荒天中止  
会場 登別漁港～虎杖浜海岸  
（いぶり中央漁業協同組合駐車場集合）  
対象 大人 ※約7キロ歩ける方  
定員 12名 ※先着順  
申込 要（5/31 締切）  
参加費 1,000円（保険料込）

## ◆ミニパネル巡回展

### 「ポロトコタンのいきものたち」

期間 2017年6月～  
内容 白老周辺で観察できる動植物について、写真や解説で紹介し、随時取り扱い種を更新する巡回ミニパネル展です。  
会場 アイヌ民族博物館  
しらおいイオル事業チキサニ  
ポロト自然休養林ビジターセンター  
萩の里支援公園センターハウス  
キウシト湿原ビジターセンター（登別市）



Facebook、Twitterでも情報をご覧いただけます。  
コタンメールはホームページにも掲載しています。

URL: [www.ainu-museum.or.jp](http://www.ainu-museum.or.jp)

編集/発行: アイヌ民族博物館 学芸課

## ペネコショイモ突きを行いました

ペネコショイモとは、冬から春の間、外で野ざらしにして、何度も凍ったり、溶けたりして柔らかくならずじがいのものです。地域によってムニンコショイモ、イモシト、ペネ、ポツェイモなどの呼び名があり、団子にしたり、お粥にいれて食べたりします。アイヌ民族博物館では、砂糖を混ぜた団子を焼いて食べます。作り方は、野ざらしにしたじがいのものを水に浸しながら換水し、不純物などを洗い流します。それを布でこしてから絞り、ニス(白)に入れてイユタニ(杵)で何度もつきます。好みの大きさに丸め形を整え、たっぷりの油で焼けば完成です。今ではフライパンで焼きますが、昔は囲炉裏の灰の中に団子を入れて焼く方法もあったといえます。

ニスを囲み「エッサーオーホイ、ホイヤーオーホイ」、「イユタニハチレフンハッハウ」といった労働歌を歌いながら、みんなで楽しみながら作業しました。



歌いながらペネイモをつく職員 (4/1)

## 白老周辺のいきもの情報や写真を

お寄せください

### 1 ハマナスについて

戦後、ハマナスの花びらを集め香料会社の札幌工場へ送った話や、学校で花びらを集め教材費に当てた話、浜辺で花を摘みお小遣いにした話を聞いたことがあります。

そこで、以下のようなことをお聞きしたいです。人から聞いたことでも構いません。

ハマナスの花摘みにまつわる時代や場所／どのくらいの量でいくらになったのか／海から離れた場所に生えているまたは、生えていたハマナス／暮らしの中でハマナスの根や実などを利用した経験



橋湖のおオカメノキ (5月)

ヨコスト湿原のハマナス (9月)  
写真 白老町坂本氏提供

### 2 昔や今のいきもの情報

いきものとその背景が白老周辺である写真などエゾスカシユリ、ハマボウフウ、シロヨモギなどの浜辺の植物、ニリンソウ、カタクリ、エゾノリュウキンカ、エゾニュウ、アマニュウ、オオハナウド、ヒメザゼンソウ、オヒョウが見られた場所／巨木がある場所／ガマがある沼／急激に増加した外来種／減少した在来種／海岸で見た海藻類／浜に打ち上げられた海の生き物／50m減ったといわれる海岸線の砂浜／湧水・湿原などの湿地／谷地坊主があった



昭和50年代のヨコスト湿原 写真 白老町辻氏提供

これらの情報は、アイヌ民族博物館での研究や伝承活動、展示などに活かすとともに、町民の皆様とも共有できるようにしたいと考えています。

お電話または、FAXをお願いします。

一般財団法人アイヌ民族博物館 学芸課

☎0144-82-4199 FAX0144-82-6121

ミニパネル巡回展 2017年6月～



白老周辺は、アイヌも利用してきた動植物が自生する山・川・海の恵みにあふれています。そこで、身近な動植物にあらためて注目し、アイヌ文化並びに、私たちのふるさとでもある自然環境の大切さを感じていただけるようなミニパネル展や観察会、講座を実施します。

巡回ミニパネル展にともない、みなさまからの白老周辺のいきもの情報や写真を募集いたします。

